



臨床研究に関する情報の公開

作成日:2026/07/31

研究課題名	2D 厚スラブ MRCP と 3D GRASE MRCP における主膵管描出能の比較:膵管径依存性の検討 (1.5T および 3T における評価)
研究の対象	2025 年 6 月から 2025 年 12 月までの間に、臨床目的で当院の 1.5 テスラまたは 3 テスラ MRI 装置を用いて MRCP 検査を施行された方
研究目的・方法	MR cholangiopancreatography (MRCP) は膵胆道系の非侵襲的評価に広く用いられているが、主膵管 (main pancreatic duct: MPD) の描出能は管径に依存し、特に非拡張膵管では描出が不十分となることがある。このような小径膵管の描出不良は、膵管と嚢胞性病変 (例えば膵管内乳頭粘液性腫瘍: IPMN) との交通の評価を困難にし、分枝型 IPMN の診断精度に影響を及ぼす可能性がある。また、早期膵癌では主膵管の軽微な狭窄や限局性狭窄が初期所見となることがあり、非拡張膵管における描出不良は、このような微細な膵管狭窄の検出を困難にし、早期病変の診断に影響を及ぼす可能性がある。一方、胆管についても、その走行や口径に応じて描出能が異なり、肝内胆管や胆嚢管などの細径胆管では撮像法による描出能の差が診断に影響を及ぼす可能性がある。近年、3D MRCP は高い空間分解能を有し、撮像技術および装置の進歩により単回息止め下での撮像が可能となり、2D MRCP と同等あるいはそれより短時間で撮像できるようになっている。一方、2D 厚スラブ MRCP は信号集積効果により小径膵管や細径胆管の描出に優れる可能性が示唆されている。しかしながら、主膵管径と描出能との関係を定量的に評価した研究は限られており、胆管を含めた膵胆道系全体の描出能について、2D 厚スラブ MRCP と 3D GRASE MRCP を比較した報告は少ない。 本研究の目的は、2D 厚スラブ MRCP と 3D GRASE MRCP における主膵管および胆管の描出能を比較し、特に主膵管径の違いが描出能に与える影響を明らかにするとともに、胆管各部位における描出能の差異について検討することである。また、これらの関係が 1.5T および 3T の両磁場強度において一貫して認められるかを検討する。 研究期間: 実施許可日～2029年12月31日
研究に用いる試料・情報の種類	年齢、性別、臨床診断名
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 〒530-8480 大阪市北区扇町 2-4-20 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 電話: 06-6312-1221、FAX: 06-6312-8867 研究責任者: 放射線科副部長 久保滋人